



亀城公園の桜

会長 溝口 隆一 幹事 福田 昭一

- 例会場 ホテルマロウド筑波
TEL.029-822-3000
- 例会日時 火曜日 12:30～13:30
- 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
- ホームページ <http://tsuchiura-src.jp>
- Eメール info@tsuchiura-src.jp

2017～2018年度
国際ロータリーテーマ



ロータリー：
変化をもたらす

2018年 3月20日 34号
2018年 3月13日 第2例会報告



地区HP



地区行事予定

- | | | | |
|--------------------------|---------|----------------------------|-----------------------|
| 1. 点 鐘 | 溝口 会長 | 8. 出席状況報告 | 出席委員会 |
| 2. ロータリーソング斉唱
(奉仕の理想) | | 9. 来賓卓話
「最近の金融経済動向について」 | 株式会社常陽産業研究所 チーフエコノミスト |
| 3. ご来訪者のご紹介 | 溝口 会長 | | 尾家 啓之様 |
| 4. 幹事報告 | 福田 幹事 | | |
| 5. お誕生日の会員及びご夫人の紹介 | | 10. 点 鐘 | 溝口 会長 |
| | 親睦活動委員会 | | |
| 6. 委員会報告 | | | (司会進行 阿部SAA) |
| 7. ニコニコボックス発表 | 片岡副SAA | | |

本日のプログラム

平成30年度 土浦商工会議所 青年部 会長 大竹信長様をお迎え致します。

次週のプログラム

3月27日(火)の例会は、土浦南ローターアクトクラブの皆さんから活動報告を伺います。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メイクアップ	出席訂正率
名	名	名	%	卓	卓	名	%
93	69	6	75.56	なし	4・5・7・9	9	86.67

【会長挨拶】

溝 口 隆 一 会長



皆さん、こんにちは。

3月は「水と衛生月間」です。世界には適切な衛生設備が利用出来ない人が25億人、さらに飲み水を得られない人が8億人近くいるそうです。「水と衛生月間」に、ロータリーの取組みを認識し、活動を広げていく重要性について考えたいと思います。

先日の合同懇親会、大変ご苦労様でした。反省点は騒ぎ過ぎた会員が若干1名おりました。

それは私です。誠に申し訳ありませんでした。

2月は日本列島、オリンピックとインフルエンザに関心が集まりました。どちらも金(菌)が出るかどうか注目でした。

3月に入りまして、3日に東風高校の卒業式に、稲本青少年総括委員長、稲野副会長、と共に出席致しました。未来ある若人の巣立は感慨深いものがあり思わず49年前の自分を思い出しました。純真無垢?だった私が、何故?どこで?どうして?このようになってしまったか…月日の流れは恐ろしいものでございます。

あと5日で3・11が来ます。7年前、白井会長年度の時でした。未だに心に傷を抱え不便な生活をされている方々が多くいらっしゃいます。11日にはテレビでも特集番組が放映される事と思います。どうぞ忘れないで下さい。

17日・18日は、第30回全国ローターアクト研修会が水戸で開催されます。当クラブからは10名で出席致します。未来のロータリアンの姿を注視して参ります。

28日は今年初めての南クラブのゴルフコンペです。レジェンド渡邊勝男さんの計らいで、行方名門「霞ヶ浦カントリー」で開催されます。晴れてもらいたいものです。

春はもう目の前に来ていますが、今月も健康に十分気をつけてお過ごし下さい。

以上、3月の挨拶と致します。

(会長挨拶は3月第1例会の未掲載分です)

【委員会報告】

会員増強委員会

説 田 賢 哉 委員長

本日の例会終了後に、第5回となります会員増強推進特別委員会を開催致します。対象となっている皆さまのご参加の程、宜しく申し上げます。その中で現状報告と今後の展開についてご意見を頂ければと思います。

今週末の17, 18日に第30回ローターアクト全国研修会が開催されます。ご参加して頂きますメンバーの方は17日13時, 県民文化センターで開会となります。お時間, 場所などお間違えないように宜しくお願いします。

【来賓卓話】

株式会社常陽産業研究所 チーフエコノミスト

尾家 啓之 様



本日は卓話のお時間を頂戴し, 誠にありがとうございます。早速ですが, 今回は「最近の金融経済の話題」についてお話させていただきます。

まず, この2月に起きましたNY株価の下落に発した世界同時株安についてですが, 2万7千ドル近くまで上がった米国株価 (NYダウ) が, さる2月2日の1日で666ドル下げました。その翌週の5日, 月曜日にも1,175ドル, なか2日あけて8日には1,032ドルの下げとなりました。その後, 再び2月末にかけて下落しました。現在は, 少し戻してようやく小康状態になっております。ちなみに2月5日の1,175ドルの下げというのは1日の額としては過去最大の下げでとなりました。

2月2日の株価下落の直接的な引き金は米国の雇用統計でした。市場の大方の予想に反して1月の時間当たりの賃金の伸びが高かったとの事から, 消費が促進され, 景気が過熱し, 物価が上昇するのではないかと類推を呼びました。その為, 連銀が利上げペースを速めるのではないかと憶測が広がり, 長期金利が2.9%台まで急上昇しました。その結果, 企業業績が悪化するとの類推から株価が下がったというものです。この説は「雇用統計」ないし「長期金利急騰」を主犯とする通説ですが, 経済が良すぎて株価が下落するわけですから, ちょっと多くの人には理解しづらい展開でした。なぜ, 今回のような些細なことが何日かにわたり大きな下落を生んだかについてお話ししたいと思います。

多くの投資家 (ファンド) は, 相場が一定以上に変動を始めると, 特に下落をはじめると, 損失が大きくなるように売るというプログラムをコンピュータに組み込んで取引をしております。きっかけは雇用統計だったり, 長期金利だったとしても, 結果的にはコンピュータによる自動取引で「売りが売りを呼ぶ」ということがあります。「プログラム取引」とか「アルゴリズム取引」とか言われております。どこまで変動が激しいと自動的な売りを開始するかの基準となる指標がボラティリティー・インデックス (VIX指数, 通称「恐怖指数」と呼ばれるもの) です。変動性と投資家の心理という二つの要因がこのVIXに反映され, 市場がどれだけ値引きを警戒しているかがわかります。リーマンショックの直後には, それまで20ポイントあたりで安定していたVIX指数が80ポイントまで跳ね上がりました。その後, ギリシャ危機, 人民

元切り下げなどの折に40ポイント台まで上昇しましたが、2015年秋以降はほぼ20ポイント程度で安定しておりました。ただ、今回のダウ平均株価の下げにより VIX 指数は2年半ぶりに40ポイントほどまで急上昇しました。今回の売りが売りを呼んだ展開には、もともとあった高所恐怖症のところに、このようなテクニカルな要因も下落を助長した可能性があります。これを「アルゴリズム取引」共犯説と命名しましょう。

以上のようなテクニカルな要因に加えて、さる12月にまとまった米国の巨額な減税案がインフレ的だという説もあります。

①米国の実体経済がいいなかで、そもそもこれほどまでの減税をする必要があるのか（景気過剰懸念説） ②中長期的には財政悪化をもたらす（財政赤字懸念説） ③減税案がとおるまでには投資家が売るに売れない状況が続いていたが、今年以降は利益確定のためいつまでも売るチャンスをうかがっている（利益確保説）、といった点も指摘できます。市場の動きは時として極めて残酷なだけに経済政策の運営には細心の配慮が必要ということでしょう。

さて、新たな日銀の執行部がほぼ固まりましたので、後半は今後の日銀の政策に方向性や課題についてみていきたいと思えます。日銀の金融政策は、総裁と2人の副総裁のほか6名の審議委員により決定されます。この9人全て、日銀法で「両院の同意を得て、内閣が任命する」ということになっています。内閣とは行政府（政権）の事ですが、今は実質的には安倍内閣総理大臣が主導権を握っています。

黒田総裁は、旧大蔵省（現財務省）出身で、国際金融を統括する次官級のポストである財務官を務めた後、アジア開銀総裁を経て2013年3月から日銀総裁になりました。2期目の日銀総裁を務めるのは戦後三人目です。大変な勉強家・読書家で金融・経済の理論に強く、何といっても「一旦決めた大枠について絶対にブレない信念の人」です。「出来るだけ早期に2%の物価安定目標に向けて全力で臨む」との総裁の言葉に偽りがないと思えます。イールドカーブ・コントロールという世界でも先駆的な手法を用いた長短金利操作付きの量的質的緩和政策はしばらく続くという事になります。雨宮副総裁（候補）は内外の金融政策の理論・実務に精通しており、前例のない斬新で大胆なアイデアを持ち、それを柔軟に実行に移す能力の高い人です。人格も円満で、日銀の事務局は雨宮さんを頂点に一致団結出来ると思えます。若田部副総裁（候補）とは、私は直接の接点はありません。ただ、過去の論文や発言を見る限り、いわゆるリフレ派の代表として執行部に加わった可能性があります。

さて今後の金融政策ですが、黒田総裁が所信表明でお話された通り、2019年度までには物価安定目標2%を是が非でも実現して、その後出口戦略を模索するというものです。最大のリスクは「市場と社会の混乱なく出口を模索出来るか」ということです。今、景気が良くて、通常でしたら（仮に2%目標がなければ）金利を正常化しなければならない局面にあります。しかし、仮に19年度までには2%が実現できたとしても、金利正常化の動きを取ろうとしたときの景気がどうなっているのかであります。五輪需要が一巡し消費税率が引き上がる19年度下期には景気が減速ないし、後退する可能性が高いです。そうした中で、そもそも出口を模索出来るのかという問題です。仮にそれまでに2%が実現できなければなおさらです。景気が減退・後

退しているなか物価が2%に上昇して、場合によっては超えているのに金融政策としては為す
すべがないという事態に陥らないかが心配です。そして本当の危機はその先でありまして、仮
に金利引き上げに踏み出せたとして、それに伴う日銀財務の悪化が日本の金融システムにも影
響を与えうることは心しておかなければなりません。一方的に、ひずみをため込むのではなく、
適宜ガス抜きをしながら、適温経済の先に潜んでいるリスクへの準備をしておかなければなり
ません。本日はありがとうございました。

【米山記念奨学生期間終了式】



【土浦南RAC 中川君卒業例会】



～ 第30回全国ローターアクト研修会 ～

於：茨城県民文化センター 3/17-18

